

一般社団法人 日本配線システム工業会



電材業界にも様々な記念日が存在しますが、「11月11日」は何の日かご存知でしょうか。ダブルコンセントのプラグ差込口をイメージする「配線器具の日」です。今回は、同記念日を制定された一般社団法人日本配線システム工業会を訪れ、活動内容についてお聞きしました。お話しいただいたのは、同会専務理事の澁江伸之様です。

(文中での敬称は略させていただきます)

快適で安心・安全な暮らしを 配線システムで実現

編集部…(一社)日本配線システム工業会はどのような団体なのでしょうか。

澁江…「本会は、配線器具事業の健全なる発達を図り、国民生活の保安と公共福祉の増進ならびに産業の振興および文化の向上に資することを目的とする」を基本理念として設立した団体です。

編集部…配線システムとは？

澁江…スイッチやコンセント、テ

ブルタップ等の「配線器具」、「住宅用分電盤」「コード付電源プラグ」のことです。かつては、「日本配線器具工業会」という名称で活動していました

が、イメージがコンセントやテーブルタップに偏ってしまい、発展性が無いため、2012年に「日本配線システム工業会」へと名称変更しました。

編集部…確かに、住宅用分電盤も含めると非常に多くのメーカー様が

いると聞きました。現在、パナソニックの白澤満様が会長を務められています。

編集部…配線器具の日は何故11月11日なのかと当初疑問に思いましたが、訳を聞いて納得しました。

澁江…国内で最も使用されているダブル(2口)コンセントのプラグ差込

分電盤や配線器具の定期点検を!

安心・安全・快適な暮らしのために

11月11日は配線器具の日

jewa 一般社団法人 日本配線システム工業会

<http://www.jewa.or.jp/>
〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町13番4号
第11村上ビル TEL.03-5640-1611

名 称：一般社団法人 日本配線システム工業会
JAPAN ELECTRICAL WIRING SYSTEM INDUSTRIES ASSOCIATION
英文略称：J E W A

所在地：〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町13-4
第11村上ビル

URL：<http://www.jewa.or.jp>

沿革：

- 1936年(昭和11年) 日本配線器具製造組合発足
- 1954年(昭和29年) 任意団体として、日本配線器具工業会創立
- 1993年(平成5年) 社団法人として設立
- 2012年(平成24年) 一般社団法人へ移行し、日本配線システム工業会へ名称変更



標準住宅用分電盤

高機能住宅用分電盤

口の形状をイメージしています。平成11年11月11日に制定しましたので、トリプル（3口）コンセントもイメージできます（笑）。冗談はさておき、

中期計画で

5大重点テーマを掲げ活動

家庭内やオフィス内での電気使用を支え、使用頻度の高い配線器具・分電盤の役割・重要性を、電気を使用する皆様に広く再認識して頂き、安心・安全・快適な暮らしのために配線器具や分電盤の定期チェックを喚起

編集部：具体的にはどのような活動をされていますか。

澁江：「快適で安心・安全な暮らしを配線システムで実現」を目的に、第5次中期計画が一昨年度からスタート

し、次の5つを重点テーマに掲げ活動しています。

- 1・安全品質の追求活動：配線器具からの火災事故を撲滅する
- 2・安全・点検リニューアル活動：交換リニューアル市場を構築する
- 3・環境対応推進活動：低炭素社会を実現する
- 4・標準化推進活動：新しい標準で安全を実現する
- 5・新規分野開拓活動：新しい分野の市場を開拓する

で厳格な安全基準を定め、電気用品安全法へ提案しています。

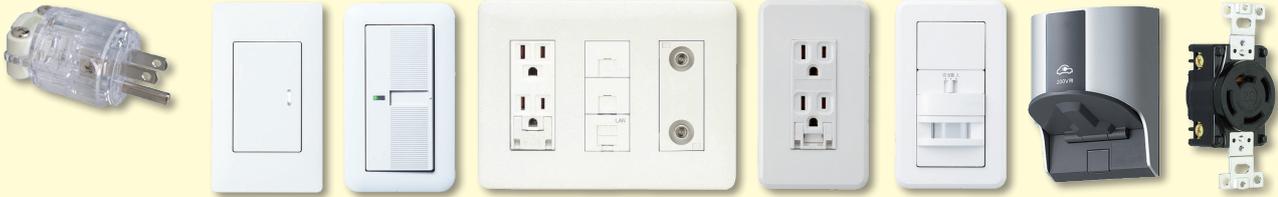
配線器具、住宅用分電盤にも寿命年に一度は点検を

編集部：新設住宅着工戸数が年々シユリンクしている中、テーマ2のリニューアル市場については、電材卸業界でも特に注目されている話題です。

澁江：配線器具や住宅用分電盤など一般消費者には何十年も使えるように思われていますが、実際は寿命があります。寿命を超えると、急激に故障や不具合の発生頻度が上がり、大きな事故につながる恐れがあります。そのため、当会では、それぞれの器具の交換目安を次の通り定め、年に一度は点検して頂くよう、配線器具の日行事や展示会、ホームページなどで訴求しています。

- 配線システムの交換目安
- テーブルタップ 3〜5年

商品一覧



配線器具



差込コネクタ



機器用配線器具



住宅用分電盤



電源コード



信号・情報器具

- 壁のスイッチやコンセント 10年
- 住宅用分電盤 13年

編集部：テーマ3の「環境対応推進活動」とは。

澁江：電気自動車の充電用コンセント、充電用コンセントスタンド（壁掛型）、充電用コンセントスタンド（自立型）について当会で規格化しています。最近では新築住宅に最初から充電用コンセントが備えられていることも多くなりました。

USBコンセント、

感震機能付き住宅盤に注目

編集部：新規分野についてはいかがでしょうか。

澁江：例えば、スマートフォン、タブレット端末の充電ができるUSBコンセントは非常に売れている分野です。カフェやホテルなど、海外では高速バスにも設置されていますね。これからも需要が伸びる分野ではないでしょうか。当会の会員4社が参

入しており、安全性・互換性を維持するため、日配工規格化しています。

他に、感震機能付き分電盤も各社が注力している分野です。近年、地震に限らず、自然災害が頻発しており、消費者の防災意識が高まっています。導入時の補助金を用意している地方自治体も多く、防災の一つの切り口として、感震機能付き住宅盤は非常に有効な商品です。なお、感震機能、避雷機能、過電流警報装置を備えた住宅盤には当会認定の高機能ラベルが貼り付けられています。



編集部：最後に、読者の電材卸店様へのメッセージを

澁江：配線器具、住宅用分電盤は性能差がわかりにくく、安全性にはそれほど意識が向かない商品かもしれませんが、家庭やオフィスで使用する電気製品が必ずつながっている重要性の高い商品です。安心・安全・快適な暮らしのために、是非とも信頼性の高い当会認定商品をお客様にご提案頂ければと思います。